

年表・新型コロナウイルスをめぐる神奈川大学の二〇二二年

大坪 潤子・齊藤 研也 編

年表について

第六号、第七号と続いた本紀要での「新型コロナウイルスと神奈川大学」特集は、この第八号では設けず、新型コロナウイルス感染対応の三年目となる二〇二二（令和四）年分の関連年表のみを作成し掲載することとした。

掲載対象はこれまで同様としたつもりであるが、感染拡大の波を幾度と経験する中でまさに「ウィズコロナ」が日常となっており、身近で感染者が発生しても驚かなくなっている。と同時に、変化を逐一記録する意識が弱くなってきたのも否定できない。大学の授業は対面形式で行うことが原則となり、キャンパスには沢山の学生が戻ってきて、式典も執り行われている。入国時の水際対策の緩和により、街には海外から

の観光客も戻ってきた。大規模なイベントも、感染対策をとりつつ開催されている。

一方で感染はまだ収まらず、現在（二〇二二年十二月）はいわゆる「第八波」の渦中にある。記録を付けた一昨年と比べて、感染者数の単位は文字どおり桁違いとなっており、今や万単位、億単位である。こうした単位の変化や記録する情報量の変化も、リアルな記録の一つかもしれない。

とはいえ、状況に慣れて記録を止めるにはまだ早く、慣れつつあるこの日常を含めて、大学史の一部として伝えるための努力は続けていかなければならないだろう。

年表・新型コロナウイルスをめぐる神奈川大学の2022年

月	日	事 項	区 分
1月	2日	神奈川県、初のオミクロン株市中感染を確認	神奈川県・横浜市
	3日	アメリカ、一日の感染者が100万人を超える	世界・日本
	5日	県内の感染者が17万人を超える	神奈川県・横浜市
	5日	厚生労働省、感染が急拡大している地域では感染者全員に入院を要請している対応を自宅での療養などに切り替えることを認める旨自治体に通知	世界・日本
	6日	山口県、広島県、沖縄県、まん延防止等重点措置要請決定	世界・日本
	6日	日本医師会、全国的に感染が第6波に突入したと指摘	世界・日本
	6日	外務省、米国務長官に在日米軍コロナ対策強化を要請	世界・日本
	7日	政府、山口県、広島県、沖縄県にまん延防止等重点措置適用決定(1月9日から1月31日まで) オミクロン株の感染力を考慮し、感染対策の認証を受けている飲食店に対しても知事の判断で酒類提供停止を可能とする	世界・日本
	7日	世界の感染者、3億人を超える(米ジョンズ・ホプキンス大学の集計)	世界・日本
	8日	国内の感染者が175万人を超える	世界・日本
	9日	日米両政府、10日から14日間、米軍関係者の不要不急の外出を制限することなどを取り決めた共同声明を発表	世界・日本
	9日	山口県、広島県、沖縄県でまん延防止等重点措置適用(1月31日まで、のうち2月20日までに延長)	世界・日本
	10日	日米両政府、日本国内全米軍関係者の基地外への不要不急の外出の制限開始(1月24日まで)	世界・日本
	11日	文部科学省、新型コロナウイルスの影響で大学入学共通テスト本試験(1月15日、16日)と追試験(29日、30日)共に受けられなかった受験生のため、特例措置として個別入試の結果で合否判定するよう全国の大学へ要請	世界・日本
	12日	全国の感染者が4か月ぶりに1万人を超える	世界・日本
	13日	第33回新型コロナウイルスに関する緊急対策本部会議開催(オンライン開催) 大型第6波に対し各部署・各人の自覚で感染対策を／ワクチン3回目接種に係る特別休暇について／1号館8階食堂の4月からの再開について／各キャンパス入構体制について はか	神奈川大学
	13日	国内の感染者が180万人を超える	世界・日本
	14日	厚生労働省、従来14日間としていた濃厚接触者の待機期間を10日間に、エッセンシャルワーカーについては条件付きで6日間とするよう自治体へ通知	世界・日本
	16日	国内の感染者が185万人を超える	世界・日本
	17日	政府、対面授業が必要で卒業や修了の期限が迫っている国費留学生87人について、例外的に1月下旬から入国を認める方針を示す	世界・日本
	17日	岸田文雄首相が就任後初の通常国会で施政方針演説、「コロナ最優先」を強調	世界・日本

	18日	県内の感染者が18万人を超える	神奈川県・横浜
	18日	国内の感染者が190万人を超える	世界・日本
	19日	政府、新型コロナウイルス対策の基本的対処方針を変更、「ワクチン・検査パッケージ」を原則、当面適用しないことなどを盛り込む	世界・日本
	19日	国内の感染者が195万人を超える	世界・日本
	20日	国内の感染者が200万人を超える	世界・日本
	21日	県内の感染者が19万人を超える	神奈川県・横浜市
	21日	東京、埼玉、千葉、神奈川、群馬、新潟、愛知、岐阜、三重、香川、長崎、熊本、宮崎の13都県にまん延防止等重点措置適用(2月13日まで)	世界・日本
	21日	厚生労働省、新型コロナウイルスワクチンの接種対象に5歳から11歳までの子どもも加えることを正式に承認	世界・日本
	22日	神奈川県、無料のPCR検査や抗原検査キットなど医療機関以外の検査で陽性が確認された場合、本人が希望すれば医療機関や保健所を介さずに自宅などで療養できるようにすることを決定	神奈川県・横浜市
	22日	国内の新規感染者、5万人を超える	世界・日本
	24日	県内の感染者が20万人を超える	神奈川県・横浜市
	25日	オミクロン株感染急拡大の注意喚起をHPに掲載	神奈川県大学
	27日	北海道、青森、山形、福島、茨城、栃木、石川、長野、静岡、京都、大阪、兵庫、鳥根、岡山、福岡、佐賀、大分、鹿児島 の18道府県にまん延防止等重点措置を適用(2月20日まで)。山口、広島、沖縄の各県は延長(2月20日まで)	世界・日本
	28日	神奈川県、全国に先駆けて新型コロナウイルス陽性者の自主療養を運用。重症化リスクの低い人が市販の抗原検査キットなどで陽性となった場合、医療機関や保健所を介さずに療養することを選べる	神奈川県・横浜市
	28日	岸田首相、新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者の待期間を10日間から7日間にすることを発表、エッセンシャルカーについて是最短で5日目に解除とする	世界・日本
	29日	国内の感染者が250万人を超える	世界・日本
	31日	県内のコロナウイルス患者数(以下患者数)累計246,522人、うち横浜市99,926+1,180人(市保健所及び県所管域発表)、平塚市3,709人(県所管域発表)となる	神奈川県・横浜市
	31日	文部科学省、濃厚接触者となった大学入試の受験生について、別室受験の要件緩和を決定。保健所業務が逼迫している自治体の受験生はPCR検査なしでも別室受験を認める。また、濃厚接触者の可能性があっても無症状なら別室受験できる(可能であれば抗原検査キットを使って陰性を確認)とする方針を示す	世界・日本
		本学園系の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年1月 204名(教職員18名 学生186名)	神奈川県大学
2月	1日	事務所の在宅勤務制度暫定運用開始(1人あたり1週1日)	神奈川県大学
	1日	県内の感染者が25万人を超える	神奈川県・横浜市
	1日	政府、公益性や緊急性が高いと判断される留学生約400人が3月上旬に入国することを認める	世界・日本
	2日	文部科学省、最長7日程度としていた学級閉鎖や休校の期間の目安を5日程度に短縮する指針を示す	世界・日本

3日	国内の死者が19,000人を超える	世界・日本
4日	国内の感染者が300万人を超える	世界・日本
5日	和歌山県、まん延防止等重点措置に適用追加(27日まで)	世界・日本
7日	「学生等の学びを継続するための緊急給付金」二次募集について(文部科学省)を在学生に通知	神奈川大学
7日	県内の感染者が30万人を超える	神奈川県・横浜市
7日	アメリカ政府、アメリカから日本への渡航について安全度を示した情報を4段階で最も厳しい「渡航の中止を求める勧告」に引き上げ	世界・日本
9日	世界の感染者、4億人を超える(米ジョンズ・ホプキンス大学の集計)	世界・日本
10日	政府、13日までの13都県のまん延防止等重点措置を3月6日まで3週間延長するとともに、新たに高知県にも2月12日からの適用を決定	世界・日本
10日	厚生労働省、フアイザー社(米)が開発した新型コロナウイルスの飲み薬を承認。国内二種類目	世界・日本
11日	国内の死者が20,000人を超える	世界・日本
15日	国内の感染者が400万人を超える	世界・日本
16日	2022年度の授業は原則面接(対面)で実施する(一部遠隔等も取り入れる)ことを発表	神奈川大学
17日	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策としての就業上の取扱いについて(訂正)通知	神奈川大学
17日	東京都、オミクロン株の一種で感染力がさらに高いと指摘される「BA.2」系統のウイルスの市中感染とみられる事例が、都内で初確認されたと発表	世界・日本
18日	政府、大阪など17道府県のまん延防止等重点措置の期限を3月6日まで延長する一方、沖縄、山形、島根、山口、大分の5県は2月20日で解除することを決定	世界・日本
19日	神奈川県、感染者のうち、重点的に健康観察などを行う対象を65歳以上の人と2歳未満の子どもなど、これまで(50歳以上)から5歳以下、重症化につながる持病がある人)よりもさらに限定する方針を決定。簡易検査キットなどで陽性になった場合、医療機関や保健所を介さずに自主的に療養する「自主療養」については2歳から64歳までに拡大の方針を示す	神奈川県・横浜市
20日	県内の感染者が40万人を超える	神奈川県・横浜市
21日	第34回新型コロナウイルスに関する緊急対策本部会議開催(オンライン開催) 「オミクロン株」による第6波と対応に関する学校医・産業医の意見/面接(対面)授業の受講に対して基礎疾患を有する学生の対応について/授業視のアクリル板撤去について	神奈川大学
22日	「2022年度面接(対面)授業の受講に対して基礎疾患等を有する学生の対応について」HP掲出	神奈川大学
27日	国内の感染者の主流はオミクロン株の「BA.1」とする調査結果を東京医科大学のグループが発表	世界・日本
28日	県内の患者数累計45,549人、うち横浜市176,994+2,086人(市保健所及び県所管発表)、平塚市7,202人(県所管域発表)となる	神奈川県・横浜市
	本学関係の新型コロナウイルス発生 2022年2月115名(教職員22名 学生93名)	神奈川大学

3月	学生に向けてHPで注意喚起	神奈川大学
1日	オミクロン株の特徴、学生の主な感染経緯（事例）、3月はここに注意！～ウイズコロナの心がけ～	
1日	政府、観光除く外国人の新規入国再開、水際対策緩和	世界・日本
1日	国内の感染者が500万人を超える	世界・日本
2日	政府、まん延防止等重点措置について、適用中の31都道府県のうち15都道府県で延長し、11県は解除する方針を固めた。残る5県は調整を続け、岸田首相と関係閣僚が3日、方向性を固める	世界・日本
6日	国内の死者が25,000人を超える	世界・日本
7日	世界の死者、600万人を超える（米ジョンス・ホプキンス大学の集計）	世界・日本
9日	県内の感染者が50万人を超える	神奈川県・横浜市
11日	「学生等の学びを継続するための緊急給付金」三次募集（文部科学省）を在学生に通知	神奈川大学
17日	政府、北海道、青森県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、香川県及び熊本県を対象として実施されているまん延防止等重点措置について、3月21日をもって終了することを決定	世界・日本
18日	第35回新型コロナウイルスに関する緊急対策本部会議開催（オンライン開催） 4月以降の事務局の出勤体制について（通常勤務に戻す。感染対策とは別に、働き方改革の一環としての在宅勤務は継続）／横浜キャンパスの入構体制について（滞在時間の緩和、東門・西門および駐輪場の開放など）ほか	神奈川大学
18日	国内の感染者が600万人を超える	世界・日本
21日	政府、全ての地域でまん延防止等重点措置を解除	世界・日本
22日	2021年度卒業式・学位授与式（於パシフィコ横浜）開催	神奈川大学
25日	教務部教務課、学生生活支援部、保健管理センター、“安心して対面授業を受けるために～5つの「神大ルール」～”を発表	神奈川大学
31日	県内の感染者が60万人を超える	神奈川県・横浜市
31日	県内の患者数累計601,398人、うち横浜市234,270+2,645人（市保健所及び県所管発表）、平塚市9,593人（県所管域発表）となる	神奈川県・横浜市
	本学関係の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年3月 63名（教職員13名 学生50名） 2021年度累計：588名（教職員62名 学生526名）	神奈川大学
4月		
1日	事務局の出勤体制が通常に戻る（時差出勤不可）	神奈川大学
3日	2022年度入学式（於パシフィコ横浜）	神奈川大学
8日	政府の新型コロナウイルス対策分科会、感染の急拡大を防ぐためワクチンの追加接種やマスクの着用などの対策を求める緊急メッセージを発表	世界・日本
9日	附属中学校入学式開催 保護者の出席は各2名まで、席の間隔をあけて十分な換気を実施	神奈川大学
10日	政府、一日当たりの入国者数上限を1万人に引き上げ	世界・日本

	10日	国内の感染者が700万人を超える	世界・日本
	12日	学生支援部、「2022年度新型コロナウイルスの影響にかかる「緊急支援授業料減免制度」について」周知	神奈川大学
	13日	世界の感染者、5億人を超える(米ジョンズ・ホプキンス大学の集計)	世界・日本
	19日	厚生労働省、ノババックス社(米)が開発した新型コロナウイルスワクチンの18歳以上への接種を認める	世界・日本
	22日	「新型コロナウイルスワクチン接種接種(追加3回目)実施について」周知 接種日程:5月19日～21日	神奈川大学
	25日	厚生労働省、コロナワクチン3回目接種までの間隔を1か月短縮し5か月と決定	世界・日本
	28日	第36回新型コロナウイルスに関する緊急対策本部会議開催(オンライン開催) 「ウイズコロナ時代」に対応した本学の感染対策システムの構築、再確認について／神奈川大学新型コロナウイルスワクチン接種接種について／2022年度学生・教職員の海外渡航について／入国できない留学生の配慮依頼申請状況について ほか	神奈川大学
	30日	県内の感染者が70万人を超える	神奈川県・横浜市
	30日	県内の患者数累計701,962人、うち横浜市273,774+2,919人(市保健所及び県所管発表)、平塚市11,464人(県所管域発表)となる	神奈川県・横浜市
	5月	本学関係の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年4月241名(教職員14名 学生227名)	神奈川大学
	6日	国内の感染者が800万人を超える	世界・日本
	11日	国内の死者が30,000人を超える	世界・日本
	17日	サッカー・リーグ、感染対策として禁止している声を出しての応援について、6月の公式戦から段階的に導入していくことを決定	世界・日本
	19日	新型コロナウイルスワクチン接種接種(3回目)開始(21日まで)	神奈川大学
	31日	第37回新型コロナウイルスに関する緊急対策本部会議開催(オンライン開催) 6月1日以降の課外活動について(学外者の入場条件等)／高等学校との連携事業の対面実施について／夏のオープンキャンパスにおける学食体験実施について／トレーニングルームの一般学生及び教職員への開放について／濃厚接触者の自宅待機期間の一部短縮について ほか	神奈川大学
	31日	県内の患者数累計753,914人、うち横浜市293,107+3,042人(市保健所及び県所管発表)、平塚市12,694人(県所管域発表)となる	神奈川県・横浜市
	6月	本学関係の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年5月127名(教職員12名 学生115名)	神奈川大学
	1日	政府、入国制限の上限を1万人から2万人に引き上げ	世界・日本
	3日	保健管理センター、学生生活支援部「安全なキャンパスライフを過ごすための「神大ルールQ&A」」(5月31日付)を周知	神奈川大学
	10日	政府、外国人観光客の受け入れをツアー客に限定して再開	世界・日本
	10日	国内の感染者が900万人を超える	世界・日本

	30日	県内の患者数累計780,389人、うち横浜市303,176+3,106人(市保健所及び県所管発表)、平塚市13,251人(県所管域発表)となる	神奈川県・横浜市
		本学関係の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年 6月 60名(教職員 6名 学生54名)	神奈川県大学
7月	7日	WHO(世界保健機関)、オミクロン株の「BA.4」と「BA.5」が欧米で主流となる中、世界で確認された1週間あたりの新規感染者数が2週間前に比べて30%近く増えたと述べる	世界・日本
	9日	県内の感染者が80万人を超える	神奈川県・横浜市
	15日	第38回新型コロナウイルスに関する緊急対策本部会議開催(オンライン開催) 対面授業において感染者が発生した場合の対応について／神大ルールのQ&Aへの追加／みなとみらいキャンパスの入構体制について／2023年度の授業体制について はか	神奈川県大学
	15日	学生生活支援部と保健管理センター、「第7波到来で感染急拡大! 猛威を振るうBA.5の空気感染に要注意!」と題しHP等で注意喚起	神奈川県大学
	15日	国内の感染者が1000万人を超える	世界・日本
	20日	県内の1日あたりの新規感染者が初めて1万人を超える	神奈川県・横浜市
	22日	県内の感染者が90万人を超える	神奈川県・横浜市
	23日	国内の1日あたりの新規感染者が初めて20万人を超える	世界・日本
	25日	学生・教職員の濃厚接触者の待期間間を7日間から5日間に短縮、濃厚接触者(学内基準)の変更	神奈川県大学
	25日	厚生労働省、ワクチン接種後の死亡で初の一時金支給を決める	世界・日本
	30日	県内の感染者が100万人を超える	神奈川県・横浜市
	31日	県内の患者数累計1,026,333人、うち横浜市394,296+4,605人(市保健所及び県所管発表)、平塚市17,479人(県所管域発表)となる	神奈川県・横浜市
8月		本学関係の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年 7月 489名(教職員61名 学生428名)	神奈川県大学
	1日	横浜図書館、平塚図書館の一般公開を再開(みなとみらい図書館は休止を継続)	神奈川県大学
	2日	総務省、発熱外来の混雑による医療ひっ迫の対策として、地方自治体に対し職員が仕事を休む際に発熱外来での検査証明書などの提出を求めないよう要請	世界・日本
	6日	夏の全国高校野球開幕。三年ぶりの全員入場行進予定も選手間の感染拡大によりキャンセルのみに変更	世界・日本
	14日	国内の死者が35,000人を超える	世界・日本
	15日	国内の感染者が1500万人を超える	世界・日本
	17日	厚生労働省、新型コロナウイルス抗原検査キットのインターネット販売解禁を決定	世界・日本
	19日	国内の1日あたりの新規感染者が26万人を超え過去最多となる	世界・日本
	24日	岸田首相、感染者の全数把握を見直す方針を表明	世界・日本
	24日	外務省、「感染症危険情報」レベルを引下げ、渡航中止勧告の国がなくなる	世界・日本

24日	WHO、日本の新規感染者数が5週連続世界最多と発表、死者数は2番目となる	世界・日本
27日	世界の感染者、6億人を超える(米ジョンズ・ホプキンス大学の集計)	世界・日本
31日	県内の患者数累計1,356,519人、うち横浜市民524,487+6,791人(市保健所及び県所管発表)、平塚市24,873人(県所管発表)となる	神奈川県・横浜市
31日	国承認の抗原検査キットのネット販売が始まる	世界・日本
9月	本学関係の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年 8月 225名(教職員50名 学生175名)	神奈川県
1日	国内の死者が40,000人を超える	世界・日本
7日	政府、水際対策を緩和、全入国者に求めてきた陰性証明書の提出を条件付きで免除。入国者数の上限を2万人から5万人に引き上げ、観光目的の外国人の入国についても全ての国を対象に添乗員を伴わないツアーを認める	世界・日本
8日	政府、感染者の療養期間の短縮などを決定	世界・日本
10日	国内の感染者が2000万人を超える	世界・日本
12日	感染者の入構(出勤)について、発症から7日間経過し、かつ、症状軽快から24時間経過している場合、8日目から入構(出勤)可とする(10日間経過かつ症状消失後8日目から可、から短縮)	神奈川県
12日	厚生労働省、オミクロン株対応ワクチンの国内での使用を承認	世界・日本
20日	国内でオミクロン株対応のワクチン接種開始	世界・日本
21日	第33回新型コロナウイルスに関する緊急対策本部会議開催(オンライン開催) 感染の爆発的な増加や対応について/後学期授業の実施に向けて/ウイルスコロナ時代のゼミ合宿ガイドライン/感染者の療養期間の短縮及び就労とキャンパス入構について/2023年度からのWi-Fiルーター貸出し取止めについてほか	神奈川県
24日	2022年度9月期卒業式・学位授与式開催(於セレストホール)	神奈川県
26日	神奈川県、この日より新型コロナウイルスの発生届の対象を65才以上、入院を要する人などに限定。「発生届」の届け出対象外となる人向けに県が新たに「陽性者登録窓口」を設け、陽性を証明する書類の届け出を求める	神奈川県・横浜市
26日	政府、新型コロナウイルス対応にあたる医療機関などの負担を減らすため全数把握の簡略化を26日から全国一律で導入。発生届の対象を65歳以上/入院が必要な人/重症化リスクがあり、治療薬や酸素投与が必要な人/妊婦に限定	世界・日本
28日	横浜キャンパスを会場とする2022年度のホームカミングデー開催中止を発表(HP)	神奈川県
30日	県内のコロナウイルス患者等(医療機関報告患者+セルフテスト陽性者、以下患者等)累計1,489,884人(県が9月25日まで実施してきた「自主検査制度」利用者数は含まず、以下同)となる	神奈川県・横浜市
10月	本学関係の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年 9月 126名(教職員24名 学生102名)	神奈川県
2日	厚生労働省、テストラゼネカ製の新型コロナウイルスワクチンについて、有効期間を迎えたため接種終了と発表	世界・日本
3日	国内の死者が45,000人を超える	世界・日本
5日	厚生労働省、ファイザー製のオミクロン株 BA.5対応ワクチンの使用を承認	世界・日本
5日	厚生労働省、生後6か月から4歳までの子どもを対象にしたワクチンの使用を正式に承認	世界・日本

	6日	県内の感染者が150万人を超える	神奈川県・横浜市
	11日	政府、水際対策を大幅に緩和。入国者数上限制度、個人の外国人旅行客入国解禁。3回のワクチン接種済証明書か、滞在先の出発前72時間以内に受けた検査の陰性証明の提示を求める措置は継続。「全国旅行支援」も東京都（10月20日から）を除き開始	世界・日本
	30日	事務所の在宅勤務制度（暫定運用）終了	神奈川県大学
	30日	県内の患者等（医療機関報告患者＋セルナテスト陽性者）累計1,551,974人	神奈川県・横浜市
		本学関係の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年 10月 112名（教職員17名 学生95名）	神奈川県大学
11月	1日	在宅勤務制度の終了により事務局が全員出勤体制となる	神奈川県大学
	22日	厚生労働省、塩野義製薬開発の新型コロナウイルス飲み薬「ソコーム」の使用を承認	世界・日本
	30日	県内の患者等（医療機関報告患者＋セルナテスト陽性者）累計1,713,586人	神奈川県・横浜市
		本学関係の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年 11月 282名（教職員34名 学生248名）	神奈川県大学
12月	1日	2023年度の授業実施方針について、2019年度以前の実施体制に戻すことを前提とし原則対面授業とすることを発表	世界・日本
	2日	国内の感染者が2500万人を超える	世界・日本
	2日	国内の死者が50,000人を超える	世界・日本
	7日	中国、「ゼロコロナ」政策の大幅緩和を発表	世界・日本
	14日	「神大ルール」改訂、入構制限の一部を緩和 ・本人体調不良時：解熱鎮痛剤を使用せず症状がほぼ治まり48時間経過後に入講可⇒24時間に短縮 ・同居家族の体調不良時：入構制限を廃止 ・ただし、それぞれ体調回復後48時間まで感染対策を徹底する条件付き	神奈川県大学
	24日	国内の死者が55,000人を超える	世界・日本
		県内の患者等（医療機関報告患者＋セルナテスト陽性者）累計1,990,025人	神奈川県・横浜市
		本学関係の新型コロナウイルス感染者の発生 2022年 12月 362名（教職員51名 学生311名）	神奈川県大学

凡 例

- ・神奈川大学に関わる事項以外は文字分下げて示す
- ・緊急対策本部会議の内容については、議事録から特に大学として大きな動きならびに本学学生・教職員のコロナ禍での状況を示すのに有効と考えられる報告および検討事項を抜粋した。それぞれの詳細についてはその状況を簡潔に伝えるもののみ記載した
- ・神奈川県は2022年9月26日（25日分）をもって前日分までの「居住地別累計 県所管域及び保健所設置市分の累計」の記者発表を終え、9月27日以降は前日に医療機関等がHERSYSに入力した患者等の数を発表している。本年表では9月末以降は県内患者等の数を医療機関報告患者およびセルフレステ陽性者数として記した
- ・典拠資料の一つ『神奈川新聞』における新型コロナウイルス関連報道については、編集室の向井織江が確認と資料登録にあたった
- ・日付は日本時間による

典拠・参考資料

- 内閣官房公式ホームページ <https://www.cas.go.jp/>
- 総務省公式ホームページ <https://www.soumu.go.jp/>
- 厚生労働省公式ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/index.html>
- NHK特設サイト新型コロナウイルス <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/chronology/>
- 神奈川県記者発表資料 <https://www.pref.kanagawa.jp/prs/list-2022-1-1.html>
- 『神奈川新聞』2022年1月1日～12月31日
- 『激動2022年』『朝日新聞』2022年12月31日付
- 「2022年県内主な出来事」『神奈川新聞』2022年12月31日付
- 神奈川大学 新型コロナウイルスに関する緊急対策本部会議資料（非公開）
- 神奈川大学 公式ホームページ <https://www.kanagawa-u.ac.jp/>